

水産業強化支援事業事後評価報告書

		静岡県水産振興課
政策目的	水産業強化支援事業	
政策目標	経営構造改善目標	30-1
事業実施主体	田子の浦漁業協同組合	
実施地区名	富士市田子の浦地区	
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度
	平成30年	令和3年
交付金額	51,885千円	
事業計画の内容	製氷貯氷施設の改築	
評価	成果目標	漁業者の収入（しらすの水揚げ高）の向上を図る
	現状値	53,049千円(令和3年)
	目標値	118,828千円
	(1) 現状値の説明	目標年とした令和3年までの3年間、過去に類を見ない不漁に見舞われた。特に令和3年は、過去最低の水揚げ高であった。要因として、黒潮の蛇行、海水温の上昇、河川の整備による栄養分のある水が入ってこないこと、など考えられる。水揚げが少ないことも影響し、魚価は向上した。
	(2) 地域への経済効果（ハード事業のみ）	しらすを水揚げするとき、たくさんの氷を使用し氷締めをすることにより、鮮度のいいしらすが高評価を得て、市場で高値で取引されることにより、小売店や仲買人などの取引も活発になり地域への経済効果があった。
(3) 所見	しらす漁の不漁に見舞われたため、目標を大きく下回ることになってしまったのは残念だが、そのような不安の多い状況下において、いつしらすが大量にとれても氷の心配はしなくていいという現状は、漁業者にとって本当に有難く、数字には表せない精神的な安心感を漁業者が持てるようになったことは大きな成果だと考える。	
(4) 評価機関への意見等	該当なし	
今後の改善方向等に関する分析	漁獲量の減少に対応するために、しらすの魚価向上をさらに目指し、氷締めの強化、加工時間の短縮など、漁業者、漁協、仲買人などが共通認識を持ちながら、より鮮度を意識し、しらすを取り扱うようマニュアルを徹底させ、所得向上を目指す。	

